

ニチイ学館が Buddycom 採用、介護施設で PHS のリプレイス 2024年3月までに67拠点へ Buddycom を導入予定

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するデスクレスワークをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、株式会社ニチイ学館（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：森 信介）が運営する特定施設入居者生活介護の施設にて、PHS に代わる次世代インカムアプリとして Buddycom が導入されたことのお知らせします。

Buddycom は、NTT コミュニケーションズ株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：丸岡 亨）と医療・介護業界向けの販売活動を強化しており、今回のニチイ学館でのご導入に至りました。

ニチイ学館では引き続き、2024年3月までに特定施設入居者生活介護67拠点へ、Buddycom と Bluetooth マイクをセットで導入していく予定です。また、ニチイ学館と同グループである株式会社ニチイケアパレスが運営する5拠点でも導入を予定しており、今後も拡大を計画しております。



Buddycom とナースコールと見守りセンサーを併用しています

【導入の背景】

ニチイ学館では業務の効率化や職員の負担軽減、更にはサービスの品質向上に向けて、特定施設入居者生活介護拠点を対象に ICT 機器を随時導入しており、スタッフ全員で情報共有できるコミュニケーションツールの導入を検討していました。

Wi-fi や iPhone での安定した通話スペックや、見守りシステム、ナースコールアプリとの互換性の高さが、Buddycom 導入の決め手となりました。

【Buddycom & 専用 Bluetooth マイク導入のポイント】

- ・Wi-Fi で安定して使えること
- ・iPhone の操作に不慣れな職員でも使いやすいこと
- ・ナースコールや見守りセンサーと併用できること
- ・「生産性の向上」「業務負担の軽減」が実現されること



Buddycom でグループ通話を行なっているイメージ

ニチイケアセンター宇治春日の森では、Buddycom でその場でスタッフ全員に情報を共有できるようになったことで、スタッフを探したり、備品や失せモノの場所を確認する等の、介護業務以外で費やす時間が削減されました。また、自身の所在やサービス対応状況等を同フロア以外のスタッフにも共有することで、拠点全体で連携が図れるようになり、お客様へのサービス向上につながっています。

ニチイ学館×Buddycom の導入事例：<https://www.buddycom.net/ja/example/example-article46.html>

ニチイ学館×Buddycom の動画：<https://youtu.be/tStECPQsWa8>

【エンドースメント】

・株式会社ニチイ学館 施設介護事業部 シニアマネジャー 齋藤 彰様

ニチイ学館では業務の効率化や職員の負担軽減を通じ、サービス品質の向上を目指しています。現在、介護現場の ICT 化を進めており、今回、特定施設入居者生活介護拠点で Buddycom の導入を決定しました。

Buddycom は他社商材と比較しても、Wi-Fi と iPhone で安定した通話を行えるスペックであることが決め手になりました。今後は、2024 年 3 月までに特定施設入居者生活介護 67 拠点へ導入を予定しております。また他のグループ会社でも Buddycom の導入を検討をしたいと考えております。

・NTT コミュニケーションズ株式会社 プラットフォームサービス本部 5G&IoT サービス部 5G サービス 部門 担当課長 木村 洋平様

NTT コミュニケーションズは、この度の株式会社ニチイ学館様への Buddycom 導入を通じて、職員の方々の働き方改革、および入居者様の満足度向上に貢献できたことを大変嬉しく思います。NTT コミュニケーションズではこれまで 5G や IoT などの ICT 技術を活用し、医療 DX を推進してまいりましたが、これからも株式会社サイエンスアーツ様と連携し、医療/介護業界のさらなる DX に貢献できるよう、一層注力してまいります。

■株式会社ニチイ学館について (<https://www.nichiigakkan.co.jp/>)

株式会社ニチイ学館は介護・医療関連・保育を中心に全国で事業展開しています。介護事業では、在宅系から居住系に至るトータル介護サービスを提供しており、グループ全体で約 1,900 カ所の介護拠点を運営しています。

■ NTT コミュニケーションズ株式会社について (<https://www.ntt.com/>)

NTT コミュニケーションズ株式会社は 1999 年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を 活かし、ネットワーク、クラウド、データセンター、アプリケーション、セキュリティ、AI などの多岐にわたる ICT サービスを展開しています。2022 年にドコモグループにおける法人事業の中核を担う企業となり、「ド コモビジネス」ブランドのもと 5G・IoT などを活用した社会・産業のグローバルレベルでの構造変革、新たな ワークスタイルの創出、地域社会の DX 支援などの価値を提供しています。

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「世界中の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 800 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 5 千万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>